

富山県技術士会 第6回講演会の報告

1. はじめに

富山県技術士会の今年度第2回目の「講演会および交流会」を平成18年11月25日（土）午後3時からJR富山駅隣の富山地铁ホテルで開催しました。

富山県技術士会ではこの様な「講演会」を毎年2回開いており今回は通算6回目、会員・一般参加を含め多数の参加がありました。

副代表幹事（総務担当 事務局）の竹内勝信氏の司会で森田清三代表幹事の挨拶につづき、日本技術士会北陸支部幹事の佐藤直衛氏から「技術士会の最近の話題」、「低環境負荷型の新エネルギー開発」と題して富山大学工学部の米山嘉治助教授、「ねじのゆるみ機構とゆるみ防止」と題して富山工業高等専門学校の佐瀬直樹助教授のご講演を頂きました。

以下に概要の報告をさせていただきます。



第6回講演会の状況

2. 技術士会の最近の話題

佐藤幹事からは「技術士ビジョン21」検討課題をはじめ、「日本技術士会の組織のあり方」、「会員拡大策」等技術士会全般の問題から地方組織の課題や北陸支部の現状、今年福井県で開催される第34回技術士全国大会について詳細なご講演がありました。



講演中の北陸支部 佐藤幹事

3. 低環境負荷型の新エネルギー開発

米山先生からは先生が中心になって研究開発に成功した世界トップの性能を持ち、既に基本特許を国内外で取得している「大小二次元細孔を持つバイモダル触媒の汎用製造法の開発」「金属触媒による新規低温メタノール合成」の最新の情報を判りやすくご説明頂きました。エネルギー資源のない我が国には是非とも開発して頂きたい技術と感じました。



講演中の富山大学 米山先生

4. ねじのゆるみ機構とゆるみ防止

佐瀬先生には紀元前のねじの発明から今日の最新のねじのお話を頂きました。毎日何気なく使っているねじ、しっかり締めればゆるむ事は無いと信じていたねじが、いとも簡単にゆるむ事を私のような素人にも判りやすく説明して頂きました。目からウロコが2枚も3枚も落ちました。



講演中の富山高専 佐瀬先生

5. おわりに

各先生の講演後には、活発な質疑があり、副代表幹事の境豊和氏の閉会の挨拶のあと、講師の先生方を交えて交流会を開催して、午後8時に和気藹々のうちに解散しました。
(富山 大塚哲夫)